

**「藍場浜公園西エリア・新ホール整備事業 基本・実施設計業務」公募型プロポーザル
審議・議事録**

1 日 時

令和8年7月27日（月） 17：00～18：40

2 会 場

とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター） 小会議室

3 出席審査委員

伊藤 久幸、佐藤 慎也、佐野 靖、深尾 精一、三宅 孝典、山中 英生、渡辺 弘

※ 五十音順

4 議事録

別紙のとおり

【注記】

- ・ 事業者名については、受付番号（01・02・05・13・15）で示す。
- ・ A～Eについては、下記の評価点のことをいう。
 - A 非常に優れている（配点×1.00）
 - B やや優れている（配点×0.75）
 - C 標準的である（配点×0.5）
 - D やや及ばない（配点×0.25）
 - E 評価できる記載がない（配点×0.00）

～冒頭、事務局から審議の流れや方法等について説明～

○委員

集計結果が出たところでございます。7つの項目ごとに、例えば、AとDに分かれているとか、かなり評価が違うところについて、内容の確認をしていこうというのが今回の趣旨です。

まず、1番目の項目（事業理解と施設全体計画）ですが、実現性の部分、コスト縮減、工期短縮など書いてありますけど、全体としての評価についてみてください。01については、ほぼAかBの評価であり、そんなに差はないと思います。02については、CとAというように少しばらけた評価になっています。それから05は、BとCということです。13については、BとCに分かれています。15については、Dが一つ、あとAの方もおられるという状態です。誰がどこを評価したか分かってしまうかもしれませんが、懸念点があったり、このように評価するのはまずいのではないかという意見があれば言っていただき、このままで結構ということであればそのままにしてください。いかがでしょうか。

○委員

全体をみると、甘めにつけている方と辛めにつけている方がいます。

○委員

そうですね。差をつけるような形で、B、C、Dを使って評価する方と、A、Bを使って評価する方もいます。A、B、Cという方もいますね。他の委員が気づかなかった点で、気づかれたことがあればお聞きしたいです。これはかなり評価できる、あるいはこの点がまずいということであれば。これ以外に、もしご自身の評価を上げようとか下げようということがあればまた後でつけていただければと思います。

○委員

これで確認したら、あとは合計点で決まると考えてよいですか。

○委員

そうですね。合計点が最後出てきますので、それをみていただきたいと思います。

○事務局

議論をしていただき、修正した点をもって二次採点という形になります。

○委員

今は仮評価という形ですね。

○委員

議論の中で修正も可能ということですか。

○委員

この後皆さん結果をみていただいて、自分の点を少し直したいということであれば直していただき、その最終結果で合計点が出てきて順位が出てきます。今のところは、項目ごとの評価のばらつきを見ていただいて、ご自身の評価において、やはりここは個人的な評価基準があると思いますので、それはそれで結構です。あるいはすごく重大な欠点がある場合などは共有していただければと思います。

では、1番目の項目はこれでよろしいですか。

～意見なし～

○委員

2番目の項目（実施体制）については、そんなに差がついていません。01については、BとAですね。それから、02については、いくつか評価があってAからCという形ですね。05については、BかCですね。13については、AからCでばらついています。それから15もBとCでばらついています。こちらはそんなにばらついている気はしませんが、何か意見があれば言ってください。実施体制や、それなりのスタッフをしっかりと配置できているかどうか。特にコストをしっかりと確認できるということを評価していただいた点が多分あるかと思います。

～意見なし～

○委員

次に、おそらく1番重要な3番目の文化ホールとしての機能充実について、ここはなかなか難しい評価があって、個別にかなりばらついています。特に、05に対する評価がかなりばらついています。D、B、C、Aと。私は、あまり専門ではないので甘くつけているため、少し考え直そうかと思っています。それ以外に何か、このプランはかなり問題があるよといったことがあればお聞きしたいと思います。02にもDがついておりまして、05にもDがついております。それから15もDがついておりますね。ここの部分が気になったなどあれば、他の方々も点が下がってくるかもしれません。よろしいですか。

○委員

ここで辛め、甘めの点が出たと思うのですが、理由としては、大ホールの方がある程度皆様の案が何となく同じで、多目的スタジオの取り扱いがどうなのかという点がありました。オープンスペースとして使うには良いのかなと思うのですが、それを小劇場と使うのは個人的には少し疑問でした。

○委員

これは設計競技ではなくて、プロポーザルなので、設計者の能力、対応の姿勢とかそういうことをみるのだと思います。大ホールに関しては、極めて機能が高く明快で、それに対してしっかりと設計できているかというのはみえると思うのですが、多目的スタジオみたいなものは、今後設計が始まった段階で、ワークショップなどで市民の人がこういうものが欲しいという要望を聞いて設計を変えてもらうことの方がむしろ前提だと思います。ですから、今委員が言われたご自身の経験も含めて、多目的スタジオがこうだと嫌だなというのはあると思うのですが、それはこれから変更できることであり、ここはやはり大ホールの設計が良いのか悪いのかということをメインに見た方が良いのかなと思います。ただ、複数で専門の違う人間が採点しているわけですから、ここで変えなければいけないということだとは思いません。

○委員

私も実はここを辛めにつけています。委員のご意見はわかりますが、大ホールはこのプロポーザルで選ばれているような設計者であれば、誰が設計しても同じようなある程度のレベルを持つ性能に収まってきます。一方で、創造活動といった文化創造エリアが、今の地域に根差した公共ホールにおいては非常に重視されていると考えています。あとは、ロビーなどのオープンな場所を市民のサードプレイスの使うような考え方に対して、どのくらい理解をした上で提案をしているかというベースがないと、ワークショップをやっても意味をなしていかないのではないかと考えています。私自身は、どちらかというと多目的スタジオをどこに置こうと考えているかという、最初の一手をどのように考えているかが設計者を問う時に非常に重要と考えています。これまでに提示されている案と比較するという意味でも、そこは重要なポイントなのではないかと考えているので、私が多目的スタジオや活動室の質問をしていたのは、そこに対する理解や計画をきちんと評価した方が良いと考えたためです。

○委員

どういう視点で設計されたかということですね。

○委員

私は 15 を少し辛めにしたのですが、ここだけ大ホールの搬入が下手側にあります。さすがにここは後ほど上手側になるのかどうか少し怪しかったので辛くさせていただきました。選定された後の交渉で変更可能なのだろうかということも含めて採点をしました。

○委員

大ホールの搬入については、下手側から上手側に入れ替えることは設計時に調整可能な範囲だと考えますが、多目的スタジオが東側にあるか上階にあるか西側にあるかということは結構大きな話になるので、変えるときは本当にがらりと全体の配置を変えなきゃいけないかもしれません。

○委員

車を回す時の展開を奥にとりかったから、下手側にしたのですかね。

○委員

先ほど質問した時に上手側に諸室を作るということで、下手側という答えでしたね。

○委員

文化ホールとしての機能充実という項目での採点だったので、大体どこの設計者もそれなりに充実した内容をメインで作ってくれているとは思いますが、その中で少しコンセプトが曖昧だったのが気になって、私は辛い点をつけました。逆に皆様と反対の甘い点をつけているところもあるのですが、それはコンサートホールとしての機能を見て、既存のホールを考えた時にこれだったら良いホールになれるかなというのもあったのでこのような点数になりました。

○委員

もしご自身の採点を修正される場合は、少し考えておいていただければと思います。よろしいでしょうか。

～意見なし～

○委員

次に、4番の項目（県都のにぎわいづくりへの寄与）ですね。全体にBやCにばらけているのですが。なかなかつけづらいですね。こののにぎわいづくりというところを、どうみるかなのでしょうけれども。

周辺のにぎわいづくりについて、私、結構ここにこだわって話を聞いたのですが、なかなか平面で繋げるというのは難しいので、本当は交差点が頑張っほしかったのですが、どうしてもオーバーパスするという考え方が必ず入ってしまうので、もう少し警察に頑張っほしいなという思いが私にはあります。そこも含めて全体的にBにしていますけど。

○委員

これを見ると配点がそんなに大きくはないのですが、やはり中央値をどの辺りに取るかによってばらついていると考えます。点数の文言を見るとCが標準的とあるので、一般標準であればCで、優れているのはBになると考えて、私はCという評価としました。

○委員

そこは評価のつけ方で皆様少し違ってはいますが、AとBを使うか、BとCを使うかですね。ここは配点が低いので、かなりばらついても仕方がないかなというところですよ。次がコスト縮減についての項目です。こちらもほぼBとCのような評価ですが、どちらかというと13と15が少し低めですかね。01、02あたりが少し高いという感じです。皆様の感覚に合っていますでしょうか。予算内に収まるかどうかという感覚に近いのだと思うのですが。

～意見なし～

○委員

次がその他施設計画ということで、こちらは防災の話と、エネルギーの話とユニバーサルデザインの話です。かなり内容がいっぱいで難しいのですが、これもA、B、Cでほぼ揃っています。評価としては、やはり01、02あたりが少し高い点がついています。次は05で、少しCが増えるという形になっています。Cが増えるのが、13と15という感じです。ここも皆様の評価に差はないかなという気がします。他にはありますか。

～意見なし～

○委員

最後の地域貢献の項目ですが、大体似たようなイメージですね。01、02が良いですが、05、13、15あたりは、一部Aがありますけれども、評価は多分少し低めという感じかと思っています。こちらはあまりアピールされていないのですよね。県内企業の登用とか県産材の利用、伝統工芸の活用とありますが、もう少し地域貢献というざっくりした話として、皆様評価されているのではないかと思います。

～意見なし～

○委員

それでは改めて皆さんで点をみていただいて。いくつか意見を聞いた上で、もし修正する場合はどうすればいいですか。

○事務局

一次採点でつけられたものを修正していただいて、できあがったら事務局に出してください。改めてその結果をお知らせします。

～審査委員が二次採点を記入し、事務局で採点を集計～

○委員

1番手が01。2番手が13。2位は949.3点ですが、3位が936.2点ということでかなり均衡しています。その後は900点を切っているのですが、1位と2位に関してはかなり差がついています。2位と3位がかなり拮抗しています。2位が均衡してしまして、委員の方によっては、逆転していることが結構あります。次点交渉権者も発表しますので、確認いただければと思います。いかがでしょうか。評価は分かれる気がしますけども。

○委員

13の案は、面白いと思っています。あれで大丈夫だという確証があれば私はすごくいきなり気持ちもあつたのですが、あのようなものがここに現れたら皆びっくりして日本中から見に来るでしょう。ただ、運営のことを考えたら確かに01の方が、問題なく運営しやすいですね。両極ではないかと思いました。

○委員

私も全く同じで、私の中で二人いて、あれがもし成立するのだったら絶対そちらの方が面白いだろうと思っています。絶対日本中から見に来ると。しかし、もう一人の自分が、運営者の視点で言うならば、01の方に行ってしまう。絶対その運営の方が安定しそうなのでそちらに行く感じです。面白さと日常のどちらを取るかという感じで。ただ私の中で、あれが本当に建築的、構造的に少し何とも言えないところがあるので。

○委員

面白いなと思ったのですが、実際に風景が下と上が合っていないというのが懸念点でした。「おっ」とはなるんですが、美しさが見えなかったので、少し懸念してしまいました。お皿に対して上が重すぎると思いますか。

○委員

劇場の中で公演をやっていない時の方が、下がすごく活発で、そういうところも結構面白いのかなと思うのですが。

○委員

そこはかなり面白いと思います。構造的には成立すると思います。ただ、予算内で成立するかどうかは、今後の設計を検討していくなかで考えていく必要があるでしょう。

○委員

何が起こっても問題はないものなのですか、あれは。南海トラフのことも話題になっているし。

○委員

今回の応募要項に合致する設計が行われていれば、現時点で想定されている地震に対しては対応ができていると考えます。少し気になったのは、丘の下が結局隠されてしまっていることで、川から見ると文化創造エリアの活動の様子は見えると思うのですが、そこが少し押し切れなかったところです。川からお皿状の人工地盤の下部ばかりが見えるのではないのでしょうか。活動室の一部やロビーが見えていて、その他の文化創造エリアの諸室の明かりが少し上にこぼれるだけで、そこでの活動の様子はあらわれてきません。そこがもう少し違う風景となっていれば評価ができました。確かに大ホールは常に公演を行っているわけではないので、お皿から下だけが日常的に活発に動いている施設のあり方は面白いと思います。

○委員

自分で転換しろと言われたら嫌なのですが、大ホールの客席のセンターがどっとなくなるといふ発想だったじゃないですか。あそこがぐっと阿波おどりが入ってくると。劇場の中に入ってくるといふ発想はあそこにしか多分ないのかなという点として、それはかなり面白かったんですよね。

○委員

順位としては2番手で良いのではないかと考えます。

○委員

他のご意見はいかがですか。

○委員

結果的に優先交渉権者と次点交渉権者との2つだけが発表されるのですよね。

○事務局

はい。優先交渉権者と次点交渉権者だけの選定をお願いします。

○委員

大体そういうルールですけど、今回の場合3つまで発表すると、受け取り方がそういうものかと皆様思ってくれるかなと思ひまして。

○委員

おっしゃっていることはよくわかります。

○委員

次点交渉権者は一者ということは明確にしているのですか。

○事務局

次点交渉権者は選定しますとなっていますが、3位を決めるとはなっていない。

○委員

総評のような中で、3番目もかなり良かったというような感じで書くことはできると思ひますけれども。ただそれがどこかということは発表しない。

○事務局

総評の中で点を出しますので、3番手がわかります。

○委員

それだったら出す必要はないですね。

○委員

1 位から 5 位が並んでいたら、自分はこれだということがわかるわけですね。

○事務局

優先交渉権者と次点交渉権者が決まりましたが、この後、審査結果の発表となりますので、時間になりましたら、ご移動をお願いします。

～審議終了～